

コロナに負けず!! Part2

新しい生活様式を守りながら健康増進に努めてはいかがでしょうか。まだまだコロナが落ち着きませんが、できることはないか、どうしたらできるかを模索している、毎日です。

そんなとき、各地域のスポーツ推進委員にお声がけをしてみてください。場所等に合わせたニュースポーツを紹介してもらえははずです。そのためにコロナに負けず、研修に励んでいます。（会長：増川 久仁男）



※撮影時のみマスク非着用

村山市スポーツ推進委員の活動

市の行事 スポーツイベントのスタッフとして従事しています。



第44回村山市一周駅伝競走大会(監督、選手、地域スタッフ、大会運営補助等を行っています)

各種研修会

スポーツ推進委員の資質及び技術の向上を目的とし、研修会に参加しています。
※通常では、いろいろな研修会が行われ推進委員が参加していますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、研修会が開催できない状況です。

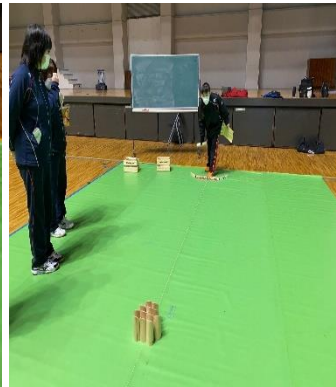
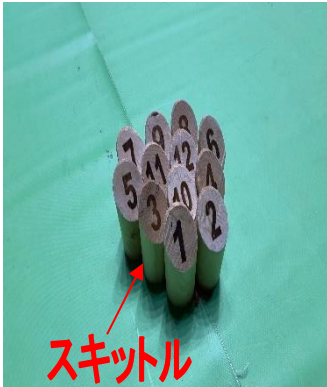
市研修会(モルック)



～お気軽にご相談ください～

スポーツ推進委員は、スポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整や、市民の方へのスポーツの実技の指導、助言を行う市の非常勤職員です。地域のスポーツ行事等、ご相談があればお気軽にお声がけください。

モルックをやってみませんか？



モルックとは？

- ・モルックは、フィンランドのカレリア地方の伝統的な「kyykka」というゲームを元に、1996年に開発されたスポーツです。
- ・母国フィンランドでは、サウナとビールを楽しみながらプレイする気軽なスポーツで、とても簡単なルールで老若男女問わず楽しむことができます。

【体験推進委員の声】

- ・初めは狙うのが難しいが、慣れてくると意外と当たる。
- ・点数を付けながら行うので、頭を使いボケ防止になるかも（笑）
- ・広さを要しないので、各地域市民センターの一部屋でも行える感じます。

モルックのルール

- ①モルック（投げる棒）を投げる地点にモルッカーリ（投げる位置を示す道具）を置き、そこから3～4m離れたところにスキットル（木製のピン）を順番（左上写真参照）に並べる。
 - ②2チーム以上で対戦しますので投擲順を決め、順番にモルックを投げてスキットルを倒します。このとき複数本のスキットルが倒れた場合は倒れた本数が、1本しか倒れなかった場合はスキットルに書かれている数字が点数となり、先に50点先取した方が勝利となります。
 - ③スキットルは、倒された地点で再び立てられます。ゲームが進むにつれて広がり、倒すのが難しくなってきます。いずれかのチームが50点先取した時点でゲーム終了となります。
- ※詳しくは、日本モルック協会 HP をご覧ください。

～はじめてみたい方は～

老若男女問わず、誰でも気軽にできるモルックをやってみたい方は、ぜひ各地域のスポーツ推進委員にご相談ください。総合型スポーツクラブや、地域で活動している団体もありますので、一緒にさわやかな汗を流しましょう！

【編集者】スポーツ推進委員 総務企画部会

部長：高橋卓美
副部長：細矢麻盛
部員：阿部佳世子
平山智一
八鍬真美
阿部和幸
板垣英希
後藤敏幸
齋藤稚子
八鍬智光